

## JA『地域貢献ディスクロージャー』の開示

開 示 項 目		開 示 内 容
○全般に関する事項		
協同組織の特性		<p>・「当組合は、島原市、雲仙市、南島原市、を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。</p> <p>当組合の資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆様方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。</p> <p>当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。</p> <p>また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の農業協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。」</p>
	組合員数・出資金	組合員数: 28,237人                      出資金: 4,951,484千円
	店舗体制	本店 1    支店 17            ATM設置台数 22(内店舗外 8)
1.地域からの資金調達の状況		
	(1)貯金・積金残高	貯 金: 180,024,219千円                      積 金: 683,672千円
2.地域への資金供給の状況		
	(1)貸出金残高	組合員等: 21,680,701千円 地方公共団体等: 16,114,363千円 その他: 755,524千円
	(2)制度融資取扱い状況	近代化資金: 1,369,780千円 農業経営負担軽減支援資金: 12,015千円 就農支援資金:                      千円 畜産特別資金:                      千円 政策公庫資金: 38,972千円 農業経営改善促進資金: 23,807千円
	(3)融資商品	営農ローン: 755,485千円 営農振興資金: 14,193千円 農家救済資金: 4,800千円 アグリマイティ資金: 25,424千円 営農サポート資金: 610,008千円

### 3.文化的・社会的貢献に関する事項

#### (地域貢献・活性化への取り組み)

##### ・小中学生書道コンクール

共済事業の「相互扶助・思いやりの精神」を小・中学生に伝えていくとともに、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として行っています。

##### ・「ごはんとお米とわたし」作文・図画コンクール

お米・ごはん食、稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、お米・ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子どもたちに稲作農業が果たす多面的な働きとお米・ごはん食の重要性、人々とのコミュニケーションづくりを図るため行っています。

##### ・少年ソフトボール大会

スポーツを通じ、明朗で健全な児童の育成を図ろうと、当JAが協賛してJA島原雲仙旗争奪少年ソフトボール大会を開催しており、令和7年の開催で30回目となりました。当JAの常勤役員も参加し、選手を激励しています。

##### ・高齢者福祉活動への取り組み

介護保険法に基づき、当JAが行う介護サービスの適正な運営を確保する為に人員及び管理運営に関する事項を定め、要介護状態等の高齢者に対して、適切な介護サービス(①指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護、②指定居宅介護支援)の提供を行うことにより、高齢者及び家族が安心して日常生活が営まれることを目的で行っています。

##### ・女性部

JA島原雲仙女性部は、青年部はもとより地域の皆さんと協働し、様々な地域貢献を行っています。代表的なものが料理教室で、夏場には時間短縮で食欲増進効果のある料理を、冬場には手軽に調理できるおせち料理などを提案します。このほか、手芸教室や生け花教室などを企画し部員以外の女性の参加も呼びかけ、部員増員につながった例も多くあります。子ども向けには「ちゃぐりんフェスタ」を企画しています。夏休み期間中の子どもたちを招いて楽しいひとときを過ごしてもらうと共に、JAへの関心、理解を深めてもらいます。女性部ならではの細やかな気配りとアイデアで、JA活動をPRしています。

##### ・食農教育

JAバンク食農教育応援事業として、学童等に稲作体験学習並びに畑作体験学習を通じた食農教育を行っています。また、南島原市深江中学校の1年生を対象に食農教育講座を開催し、地域農業の現状と国産農産物の安全性について伝達を行っています。

##### ・広報活動

(広報誌「Ko. Bu. Re」)

JA島原雲仙の広報誌です。毎月1回、約2万部を発行しています。

農業に関する情報を中心とした内容で構成しています。タイトルの“こぶれ”は、島原半島の方言で小屋(おやつ)を意味します。農作業の合間に手軽に読んでいただき、心を和ませてくれるような広報誌をめざしています。

(こぶれTV)

JA島原雲仙には、地元のケーブルテレビ局「ひまわりてれび」と共同で、テレビ番組「こぶれTV」を作成し放送しています。農家や職員らを現場でインタビューするなど、広報誌「KO. Bu. Re」に沿った内容で、当JAのホームページでも見るができます。放送は、同局の「デイリーひまわりTimes」のコーナーで、毎週月曜の7時、10時、12時、19時、22時の計5回放送しています。

**・その他**

島原半島内における地域行事やイベント等についても、共催・協賛・後援という形で関わっており、地域の皆様と接する機会をなるべく多くつくるように心がけております。